

# 契約変更理由書

神戸市

工 事 名	ひよどり台特2高層低区配水池施設整備工事
<p>契約変更後の工事概要</p> <p>場内配管更新・・・Φ75-10.5m、Φ100-4.0m、Φ150-12.5m、Φ200-33.9m、Φ300-88.3m Φ400-182.5m</p> <p>ストレーナー室築造・・・一式</p> <p>As舗装・・・722m<sup>2</sup></p> <p>張りCo・・・1105m<sup>2</sup></p> <p>配水池改良・・・一式</p> <p>内面防水・・・3063m<sup>2</sup></p> <p>外面塗装・・・312m<sup>2</sup></p> <p>工期延長</p> <p>令和6年10月31日 → 令和7年3月31日 (151日)</p>	
<p>契約変更の理由</p> <p>①・当初想定では流量計室内の配管は1・2号池両方から、配水が可能となっていたが、切替時に管路を逆流する可能性が生じた。そのため、それが発生しないルートにする必要があるため、バイパス管路を設けることで切替時に逆流が無い配管とした。それに検討と調整に時間を要した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配管時には断水を行い取替を行うが、一部ルートで断水できないことが判明した。そのため、断水での施工を検討することに調整と時間を要した。</li> <li>・当初想定では配水池貫通部の配管について、両フランジ管での配管となっていた。しかし貫通部については配水池躯体への孔を最小限の大きさにする必要があるため、片メカ挿口管へ変更することにより躯体への削孔を最小限にし配管可能とした。結果、配管の製作に時間を要し着手が遅れたことで、以降の工程に遅れが生じた。</li> </ul> <p>②・配水場内の既設構造物（電柱や石積み擁壁）と既存の配管が試掘の結果近い位置にあることが判明したため、勾配掘削から矢板施工とすることで、既設構造物を保護しながら施工を行うこととなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管路遮断弁の設置やバイパス管路への変更等、配管箇所が増加したため、作業日数の増加となった。</li> </ul> <p>③ストレーナー室は定期的に作業に入る施設となっているため、内部のステージ台やタラップが資材搬入や作業に支障が生じない造りにする必要があった。当初想定では、タラップやホイストクレーンがステージ台での作業を行うのに支障が無い配置と考えられていたが、建物を実際に施工したところ材料搬入には狭い配置となることが判明した。そのため、付属物の配置や形を一部変更して今後の作業への支障にならないように再度検討と調整を行った結果、工程に遅れが生じた。</p> <p>上記①に90日、②に30日、③に31日の合計151日の工期延長が必要である。</p> <p>④配水池上の人材土工について、当初設計では覆土厚が200mmと計上されていたが、実際は400mmとなっていたためすきとり土量の増加となった。</p> <p>⑤流量計室、配水池内、サージタンク入水の配管材料の変更に伴い、金額の増加となった。</p>	